

緑の募金法制定30周年記念シンポジウム 「緑の国際協力で進める森づくり・人づくり・地域づくり」

2026年3月13日

特定非営利活動法人イカオ・アコ
二角 智美

目次

団体/活動紹介

マングローブ植林の背景等

具体的な活動

団体設立のきっかけ

第二次世界大戦中、ネグロスに
駐在していた通信部隊小隊長の
土居氏の想い

『日本人だけではなく
フィリピン人にとっても
何か役にたつことがしたい』



活動地

フィリピン共和国

1997年～ネグロス島 – 代表、現地スタッフ4名

2009年ボホール島 – 現地スタッフ4名

日本事務所：愛知県名古屋市

設立

1997年～

ネグロス島でマングローブ林再生のための
植林活動からスタート



団体名の由来

「イカオ・アコ」は現地の言葉で「あなたとわたし」

目的

環境に係る問題の改善や解決を図り、住民の生活の質の向上と日本・フィリピンの相互理解及び親善の増進に寄与すること。

団体の主な活動内容

安全な水の供給事業（ボホール島）



年3つの学校・地域で
貯水タンクと手洗い場の建設
衛生教育等

ゴミの減量化の事業（ボホール島）



村役場と協働して、資源ゴミ回収場の設置や
清掃活動の実施、ゴミの分別促進、環境教育等

マングローブ植林の背景について

魚の養殖地への転換や薪炭生産、人為的開発により
マングローブ林が伐採され、20世紀初頭から
1990年に4分の1に激減

活動地の一つのネグロス島でも
95%以上のマングローブが伐採された
という記録がある

マングローブを守ることで....

1

マングローブ林は、「防波堤」の役割にもなるため、海岸線で生活する人々の暮らしを高波や洪水から守ります。

2

「海の命のゆりかご」と言われるほど、魚やエビなど多くの海洋生物が幼少期を過ごす場所。生態系も豊かになります。

3

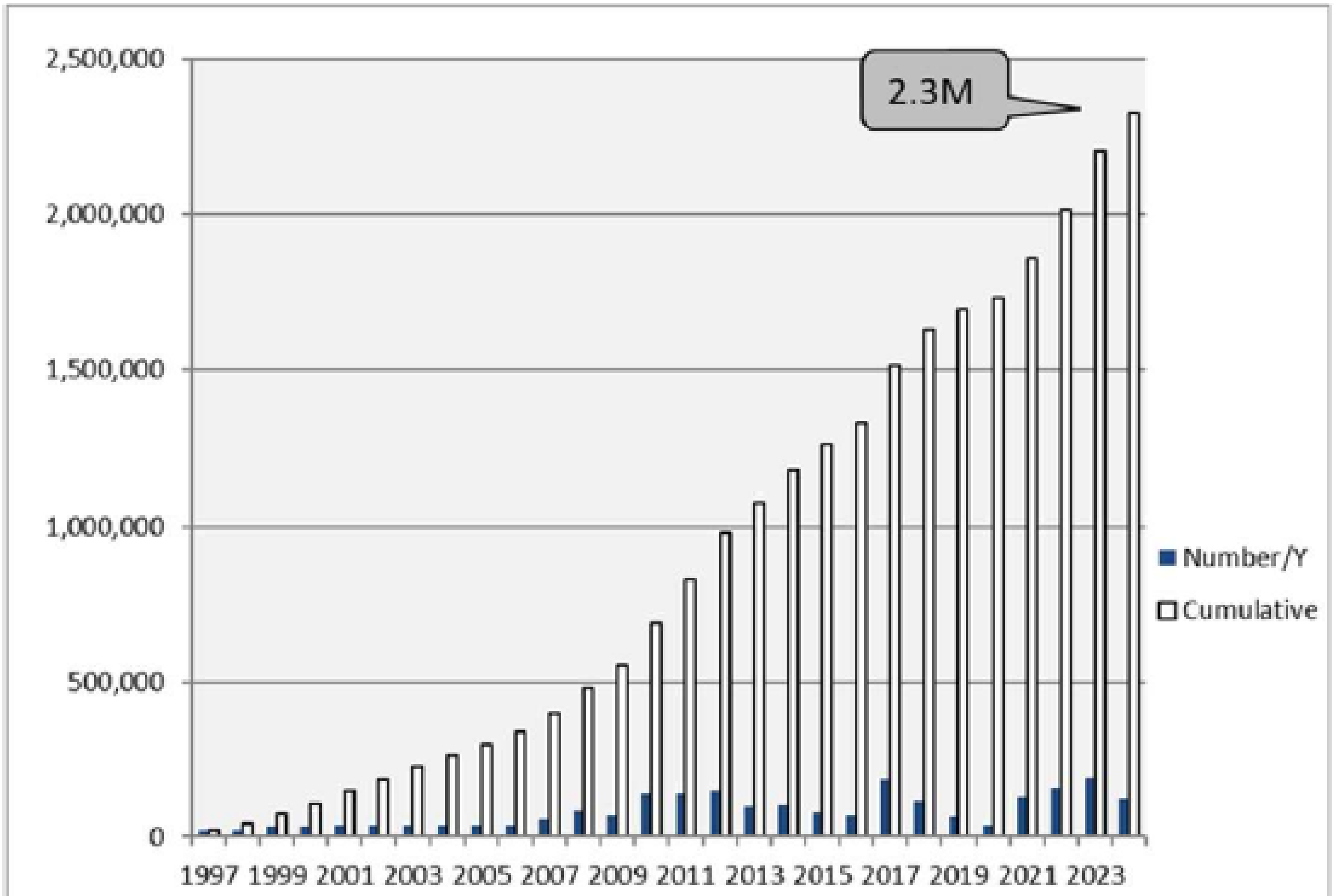
マングローブは、他の樹木と比べて二酸化炭素を多く吸収することから、地球温暖化の防止や気候変動の緩和にもつながります。

これまでの植林地



合計23か所

累計230万本の植林を実施
(2024年時点)



実際の活動について

事業開始前



候補地の調査
住民への聞き取り

バランガイ(行政最小単位)関係者や
住民団体(PO)と話し合いを行う
関係性の構築

事業実施中

住民団体（PO）との協働

物資等だけの提供だけではなく
事業終了後も持続的な活動が
できるようスキルの伝授も行う

例) 苗の選定や育成、植え方、
メンテナンスなど



生計支援



- ・植林する苗は住民から直接購入
- ・マングローブが育つことで
海の生態性が豊かになる
→主な生計手段が漁業関係者らの
収入が増える

社会参加への場

2024年の内部調査結果

- ・参加者の約75%が女性であり
多くの住民団体に女性が代表を務めている

- ・住民団体メンバーの約20%が
60歳以上

→社会参加への自信向上につながっていると回答している



清掃活動（環境教育）



清掃活動も重要

流れてきたプラスチックの
ゴミなどがひっかかり
苗が倒れてしまう

→ 苗が定着せず、育たない

苗の成長状況を継続的に
モニタリング

→ 状況に応じて、補植も行う



Tabao Baybay村の例

- ・日常的に大量のゴミが漂流してくる
- ・当初、当団体が清掃活動の日程を決め、実施していた

住民団体代表が中心となり、担当者・日程を自主的に決定
毎週の清掃活動を継続実施

メンバーの意識が向上し、自発的な行動変容が見られるようになった

実際の住民の声

「こんなにもゴミを拾うことが、大変だと思わなかった。

これからはゴミをポイ捨てしない。」

環境教育



様々なステークホルダー

州の機関、警察官/沿岸警備隊

学校関係者なども植林活動に参加

エコツアーリズム

マングローブ林を活用した
エコパーク

ネグロスに数カ所ある
(6A村、Tomongtong村)

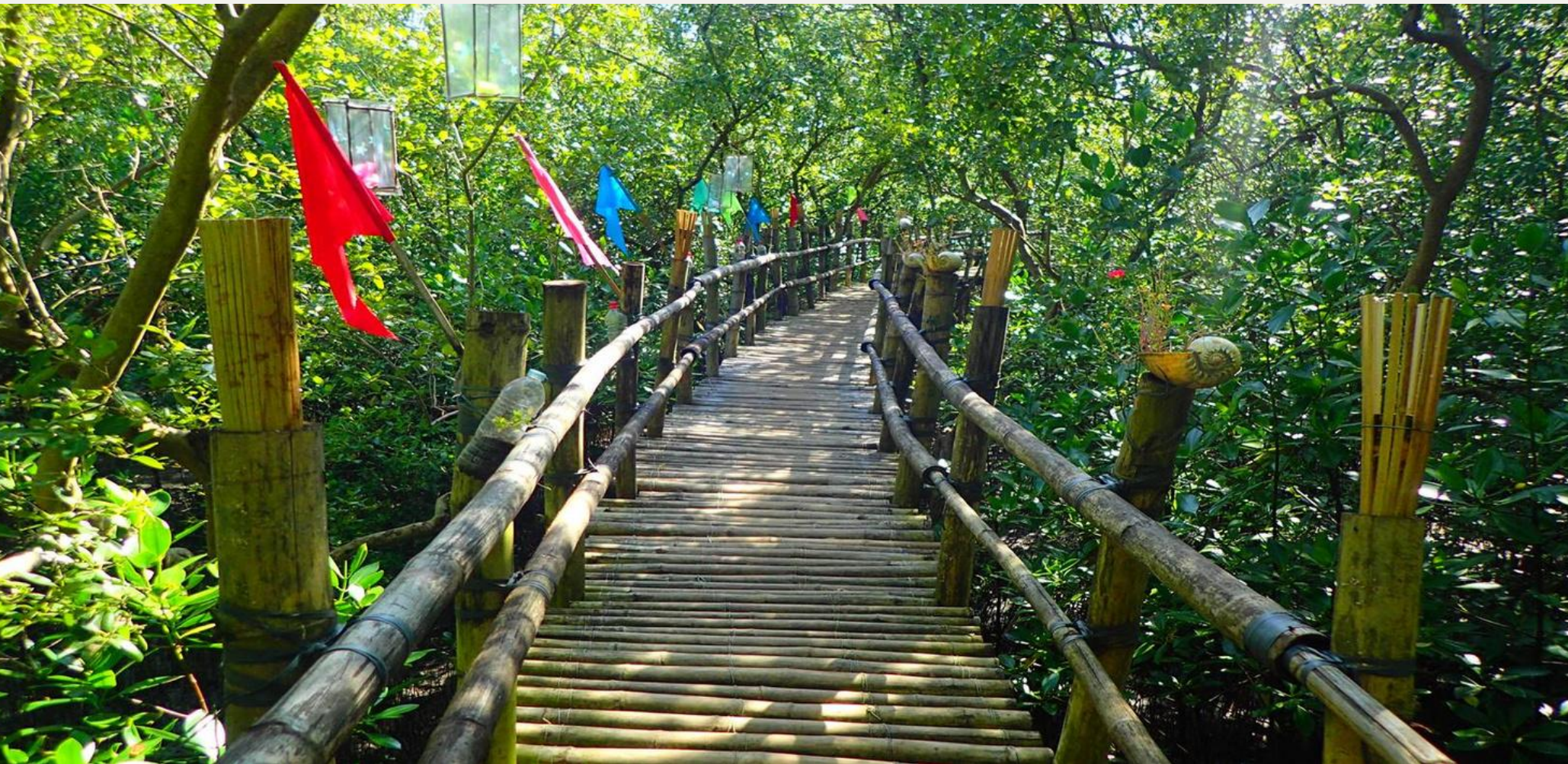
例)

マングローブ林内に遊歩道

休憩スペース(竹の小屋)

バードウォッチングができるタワー

カフェ







マングローブ植林

エコパークの拡大
設備・体験の充実

訪問者が増える

収入源が増える

- ・従業員の収入になる
- ・エコパークのメンテナンス費用に
- ・マングローブ植林などの活動

成功例

西ネグロス州南部 沿岸部 Bocana村での活動

【当時の様子】

住民が住む敷地の1~2m先に海が広がっている
→台風による高波が来た場合、海水が住民の家の中まで押し寄せる危険な状態

州政府が植林を行っていたが、メンテナンスが不十分だったため成果が出ていなかった

2009年から日本企業からの支援や民間の助成金を活用して当団体が主体で植林活動を行う



活動の重要性が理解・浸透し、住民団体が結成される



住民団体が主体的に活動に取り組む

住民団体の一部のメンバーは他地域のエコツーリズム地に視察に行くなど、エコパークの改善・取り組みにも熱心

来年度からエコツーリズムの事業を行う



約5ha(東京ドーム約1個分)の
マングローブ林が広がる





ご清聴ありがとうございました